

中央図書館における新型コロナウイルス感染対策

中央図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者サービスの制限を行うとともに様々な感染対策を行っています。

1. 利用者サービスの制限

- 発話禁止（サイレント利用のみ）
- ラーニングコモنزの利用をサイレント個人学習に限定
- 閲覧席の利用制限（隣席との間隔を1 m以上空けた利用）
- グループ学習室（2階～4階）の利用停止
- 研究個室（2階～4階）の利用停止
- アメニティルームの利用停止（自動販売機利用及び閲覧利用を除く）
- アメニティルームでの飲食禁止
- パソコン端末室（1階）の利用停止

2. 入館時の対策

- マスク着用の徹底
- 手指消毒の徹底
- 検温（発熱が確認された場合は入館禁止）の徹底

3. その他の対策

- 学外者の入館制限（令和2年3月以降継続中）
- 館内各所に消毒液・消毒クロスの設置
- 空気清浄機の設置（ラーニングコモنز、図書館展示セミナー室、情報リテラシー支援室）
- 液体せっけんの設置（トイレ）
- 職員によるカウンター、パソコン端末コーナー等の消毒作業
- 感染防止協力依頼のチラシやデジタルサイネージ掲示
- 電子ブックの購入
- Zoomを用いたレファレンスサービス（令和3年7月開始）
- オンライン選書ツアーの実施（令和2年度から）
- 検温を含む職員の体調管理（令和2年4月以降継続中）
- カウンターへのアクリル板設置
- 自動貸出機設置（令和2年度1台増設）